



## 令和7年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和7年2月13日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7851 URL https://www.kc-s.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 啓輔  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 糸川 克秀 (TEL) 03-3541-2281  
 兼最高財務責任者  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和7年3月期第3四半期の業績（令和6年4月1日～令和6年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年3月期第3四半期	2,106	8.0	75	—	99	—	92	—
6年3月期第3四半期	1,950	3.3	△14	—	△3	—	△6	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年3月期第3四半期	19.87	—
6年3月期第3四半期	△1.37	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
7年3月期第3四半期	3,393	2,388	70.4
6年3月期	3,448	2,288	66.4

(参考) 自己資本 7年3月期第3四半期 2,388百万円 6年3月期 2,288百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
7年3月期	—	0.00	—	—	—
7年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 7年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当 2円00銭（創業70期記念配当）

### 3. 令和7年3月期の業績予想（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,750	6.1	50	—	80	—	70	—	15.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	7年3月期3Q	5,160,000株	6年3月期	5,160,000株
② 期末自己株式数	7年3月期3Q	466,611株	6年3月期	519,111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	7年3月期3Q	4,661,098株	6年3月期3Q	4,665,653株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(セグメント情報等の注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続き、企業収益が高水準で推移する中、内需の柱である個人消費や設備投資が増加傾向で推移するなど、緩やかな回復が続いているものの、中国経済の減速や先の見えないウクライナ情勢や中東地域の地政学的リスクなど不透明な状況が続いております。

ビジネスフォーム業界におきましても、引続き印刷需要の回復は厳しいものがあり、更に原材料の度重なる上昇や資材や物流費、光熱費などのコストが高止まりするなど厳しい状況が続いております。

このような情勢ではありますが、当社はここ数年に投資した大型設備の稼働向上に向け、BPOをメインとした定期案件の獲得や官公庁・外郭団体の入札参加を目指すなど、昨年公表した中期計画に沿った活動を進め成果を挙げました。

その結果、売上高は2,106百万円（前年同期は1,950百万円）、経常利益は99百万円（前年同期は3百万円の経常損失）、四半期純利益は92百万円（前年同期は6百万円の四半期純損失）となりました。

#### ①ビジネスフォーム事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止を契機とした各企業のテレワークの定着化による業務の電子化、広範囲にわたる物価上昇による企業のコスト見直しが価格競争を刺激しており、ビジネスフォーム事業全体における需要は減少傾向にあるものの、売上高は前年同期と比べ52百万円増加し1,159百万円（前年同期は1,107百万円）となりました。セグメント利益は、売上高の増加もあり前年同期と比べ23百万円増加し128百万円（前年同期は105百万円）となりました。

#### ②情報処理事業

官公庁案件の受注獲得に注力したことなどにより、売上高は前年同期と比べ103百万円増加し947百万円（前年同期は843百万円）となりました。セグメント利益は、ビジネスフォーム事業と同様にインク、トナー、糊等の資材の高騰の影響があるものの、売上高が増加したことや減価償却負担の減少もあり前年同期と比べ65百万円増加し146百万円（前年同期は81百万円）となりました。

### （2）当四半期の財政状態の概況

流動資産は前事業年度末と比べ11百万円減少し、1,590百万円となりました。これは主に「商品及び製品」が31百万円、「仕掛品」が11百万円、「原材料及び貯蔵品」が12百万円、「その他」に含まれる「前払費用」が14百万円、「立替金」が10百万円それぞれ増加し、「現金及び預金」が33百万円、「受取手形及び売掛金」が60百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は前事業年度末と比べ43百万円減少し、1,802百万円となりました。これは主に「投資その他の資産」に含まれる「投資有価証券」が14百万円、「保険積立金」が12百万円それぞれ増加し、「建物（純額）」が10百万円、「その他（純額）」に含まれる「機械及び装置」が24百万円、「リース資産」が31百万円、「投資その他の資産」に含まれる「会員権」が5百万円それぞれ減少したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ86百万円減少し、659百万円となりました。これは主に、「買掛金」が20百万円、「短期借入金」が10百万円、「賞与引当金」が16百万円、「その他」に含まれる「未払消費税等」が34百万円、「未払費用」が5百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は前事業年度末と比べ69百万円減少し、344百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる「繰延税金負債」が5百万円増加し、「長期借入金」が12百万円、「その他」に含まれる「リース債務」が65百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ100百万円増加し、2,388百万円となりました。これは主に四半期純利益を92百万円計上し、配当金を13百万円支払い、自己株式を12百万円処分し、「その他有価証券評価差額金」が9百万円増加したことによるものです。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和7年3月期の業績見通しにつきましては、本日公表の「令和7年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ（非連結）」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和6年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和6年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,149,766	1,116,680
受取手形及び売掛金	348,411	288,018
商品及び製品	30,939	62,295
仕掛品	7,883	19,223
原材料及び貯蔵品	31,544	43,607
その他	34,142	61,000
貸倒引当金	△35	△30
流動資産合計	1,602,652	1,590,796
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	198,971	188,765
土地	409,900	409,900
その他（純額）	386,824	328,428
有形固定資産合計	995,695	927,094
無形固定資産		
	11,598	11,763
投資その他の資産		
投資有価証券	575,807	590,598
その他	263,202	273,010
投資その他の資産合計	839,009	863,609
固定資産合計	1,846,304	1,802,466
資産合計	3,448,956	3,393,263
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	115,512	94,583
短期借入金	320,000	310,000
1年内返済予定の長期借入金	16,664	16,672
未払法人税等	8,647	6,485
賞与引当金	31,567	15,013
その他	253,698	216,796
流動負債合計	746,090	659,551
固定負債		
長期借入金	12,506	-
退職給付引当金	51,306	52,500
役員退職慰労引当金	40,553	42,463
その他	309,526	249,763
固定負債合計	413,893	344,728
負債合計	1,159,984	1,004,280
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,748,931	1,748,587
利益剰余金	504,505	583,184
自己株式	△123,758	△111,093
株主資本合計	2,229,678	2,320,679
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	59,293	68,304
評価・換算差額等合計	59,293	68,304
純資産合計	2,288,972	2,388,983
負債純資産合計	3,448,956	3,393,263

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
売上高	1,950,758	2,106,998
売上原価	1,471,826	1,544,922
売上総利益	478,932	562,075
販売費及び一般管理費	493,589	486,859
営業利益又は営業損失(△)	△14,656	75,216
営業外収益		
受取利息	3,859	9,193
受取配当金	3,905	5,544
作業くず売却益	1,001	778
保険解約返戻金	—	5,198
その他	11,412	11,761
営業外収益合計	20,178	32,475
営業外費用		
支払利息	8,643	7,548
その他	500	1,044
営業外費用合計	9,144	8,592
経常利益又は経常損失(△)	△3,622	99,099
特別利益		
投資有価証券売却益	3,720	—
補助金収入	80,000	—
特別利益合計	83,720	—
特別損失		
固定資産除却損	0	11
固定資産圧縮損	80,000	—
特別損失合計	80,000	11
税引前四半期純利益	98	99,087
法人税、住民税及び事業税	6,485	6,485
法人税等合計	6,485	6,485
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,387	92,601

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス フォーム事業	情報処理事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,107,267	843,490	1,950,758	—	1,950,758
外部顧客への売上高	1,107,267	843,490	1,950,758	—	1,950,758
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,107,267	843,490	1,950,758	—	1,950,758
セグメント利益	105,525	81,007	186,532	△201,189	△14,656

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期財務諸表の営業損失と調整を行っています。

II 当第3四半期累計期間（自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス フォーム事業	情報処理事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,159,791	947,206	2,106,998	—	2,106,998
外部顧客への売上高	1,159,791	947,206	2,106,998	—	2,106,998
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,159,791	947,206	2,106,998	—	2,106,998
セグメント利益	128,747	146,751	275,499	△200,283	75,216

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、令和6年5月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式15,000株の取得を行いました。また、令和6年7月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式67,500株を令和6年8月23日に譲渡制限付株式報酬として処分しております。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が12,665千円減少し、当第3四半期会計期間末において自己株式が111,093千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

なお、のれんの償却額は該当がありません。

	前第3四半期累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
減価償却費	94,578千円	75,891千円